

2010年2月19日

報道関係者各位

PCAアセット・マネジメント株式会社

PCAアセット・マネジメント

PCA南アフリカ債券ファンド（毎月決算型）

愛称：虹の国 追加型投信/海外/債券
を

新規設定

ピーシーエー・アセット・マネジメント株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：龍万成）、（以下「PCAアセット」）は、「PCA南アフリカ債券ファンド（毎月決算型）愛称：虹の国」を新規に設定します。2010年3月8日（月）から3月29日（月）まで当初募集を行い、2010年3月30日（火）に設定、運用を開始します。

「PCA南アフリカ債券ファンド（毎月決算型）」は、マザーファンド「PCA南アフリカ債券マザーファンド」を通じて、主として南アフリカ共和国の政府、政府機関および企業等または国際機関の発行する南アフリカ・ランド建て債券への投資を行い、信託財産の着実な成長と比較的高水準の金利収入を安定的に確保する事を目指すファンドです。当ファンドの主な魅力は次の4点です。

■ 「PCA南アフリカ債券ファンド（毎月決算型）」の魅力 ■

1) 資源国・南アフリカ経済の成長力

南アフリカは、金、プラチナ、ダイヤモンド、レアメタルといった資源を豊富に有しています。新興国の発展に伴い、世界的な資源需要は今後益々拡大すると予想されています。加えて、今年行われるワールドカップの開催を契機としたインフラ整備の進展等もあり、南アフリカ経済は更に発展し、名目GDPは年々増加する事が予想されています。

2) 高格付でありながら魅力的な金利水準

南アフリカの自国通貨建長期債格付はA+（S&P）（2009年1月末時点）と、BRICsの一角である、ブラジル、ロシアより3ノッチ（段階）も高い格付を有しています。一方、国債利回りは9.17%* と先進国並びにブラジルを除く他の新興国と比較して相対的に高く魅力的な水準にあります。

*出所：Bloomberg L.P.（2009年12月末）

3) 通貨の上昇期待

南アフリカの通貨ランドは、2008年秋以降の世界的な金融不安に伴う新興国通貨売りの流れの中で、対ドルおよび対円で大きく下落したものの、2009年3月以降の世界的な金融不安の後退や世界的な景気底打ち期待を背景に買い戻される展開となっています。 今後は、世界的な資源需要の拡大や、南アフリカ国内の消費の拡大などにより更なる経済成長が見込まれ、通貨の上昇が期待されています。

4) 南アフリカに強い運用体制

当ファンドは、PCAアセットグループの南アフリカ拠点に在籍する債券運用チームが、現地での豊富な経験と情報を元に実質的な運用にあたります。PCAアセットグループは、日本に拠点をもちグローバルに展開する投資信託運用会社の中で南アフリカに運用の拠点を持つ唯一の金融グループです*。1993年に南アフリカ・ケープタウンに資産運用会社を設立し、現在ヨハネスブルグ、ナミビアにも展開しています。 2009年6月末現在、南アフリカ拠点における運用資産残高は、総額約120億米ドルとなっており、南アフリカ有数の運用会社のひとつとなっています。

*当社調べ(2010年2月19日現在)

PCAアセットの代表取締役社長兼CEOである龍万成は、本件に関し、次のようにコメントしています。

「PCAアセットグループは、日本に拠点をもちグローバルに展開する投資信託運用会社の中でも南アフリカに運用拠点を持つ唯一の金融グループであり、今回、こうした当社グループの強みを活かした商品を日本の投資家の皆様にご提供出来る事を大変嬉しく思っております。当商品が、日本の投資家の皆様の資産形成における選択肢の一つとしてその役割を果たす事を期待しております。」

なお、当初募集開始時点での販売会社は、株式会社中国銀行となっています。

※ ファンドの詳細については添付の販売用資料をご査収ください。

【PCAアセット・マネジメント株式会社 会社概要】－2009年12月末時点

- ◆ 設立: 1999年12月(ピーピーエム投信投資顧問株式会社設立)
- ◆ 資本金: 6億4950万円
- ◆ 住所: 東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビル
- ◆ 登録番号: 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号
- ◆ 加入協会: 社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会
- ◆ ホームページ: www.pcaasset.co.jp
- ◆ 運用資産残高: 約4,870億円(公募投信残高)

ピーシーエー・アセット・マネジメント株式会社は、英国で設立されたブルーデンシャル社(以下「親会社」といいます。)の间接子会社です。親会社およびその関連会社は、世界有数の金融サービスグループとして、世界各国で保険やその他の金融サービス事業を展開しています。160年以上の歴史を持ち、2009年6月30日現在その運用資産は2,450億ポンド(約39.0兆円、1ポンド＝159.51円)にのぼります。親会社およびピーシーエー・アセット・マネジメント株式会社は、主に米国で事業を展開しているプルデンシャルファイナンシャル社とはなんら関係がありません。

【本プレスリリースに関して】

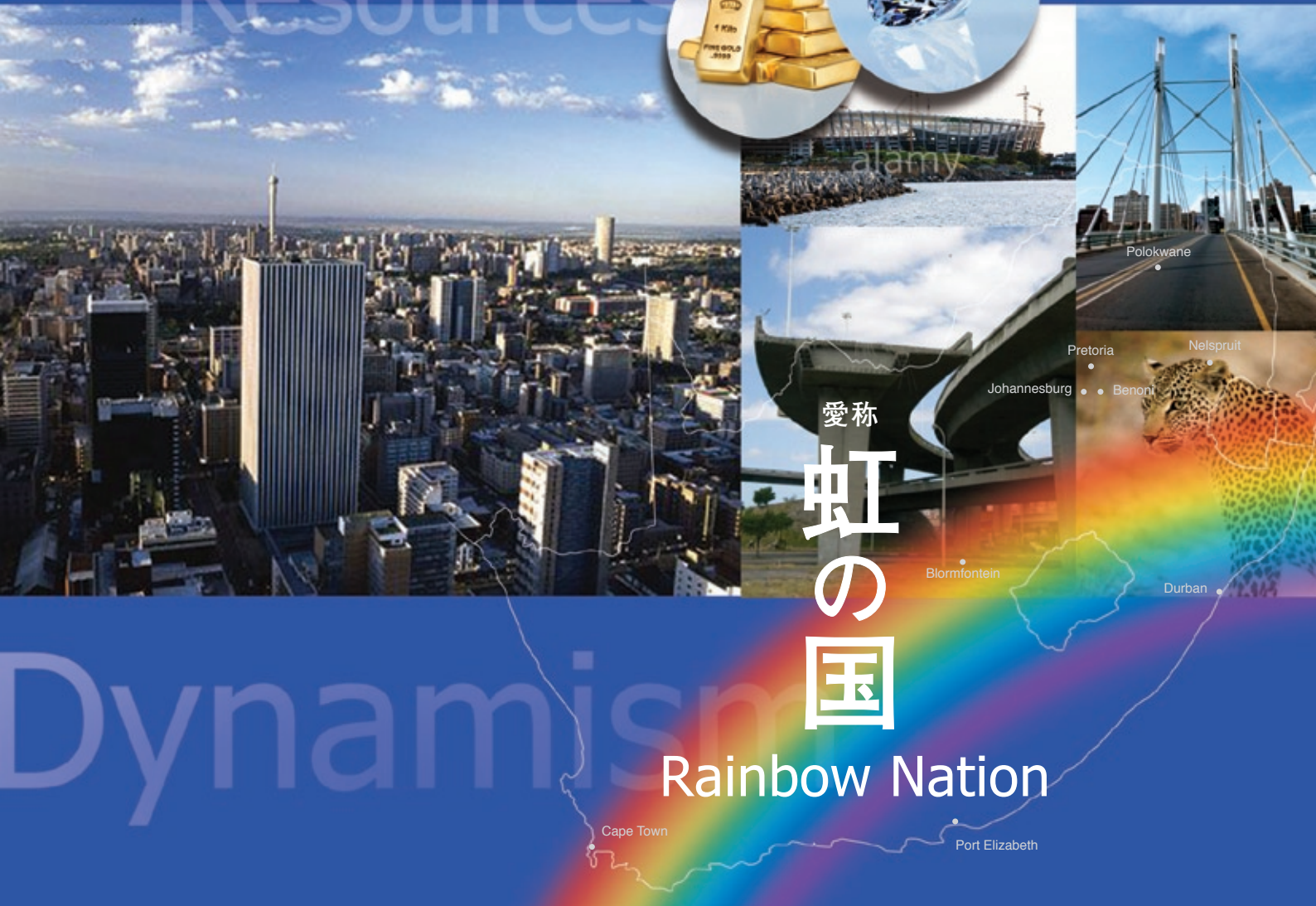
- ※ 当資料は、報道関係の皆様に向けて作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※ 当資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。

PCA南アフリカ債券ファンド (毎月決算型) 追加型投信／海外／債券

販売用資料

2010年3月

Resources



当ファンドの
主なリスク



当ファンドは、主として南アフリカ共和国の債券を実質的な投資対象とします。このため、一般的にわが国の預貯金および国債等と比較して高いリスクがありますので、ご購入時の価額を下回ることもあります。

当ファンドの
手数料等の
概要

■ お申込手数料：上限3.675% ■ 信託報酬：年率1.6695%

■ 信託財産留保金：換金時基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

※その他の費用等の詳細につきましては「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

お申込みの際は「投資信託説明書（交付目論見書）」、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）をご覧ください。

「投資信託説明書（交付目論見書）」のご請求、お申込みは

設定・運用は

PCA アセット・マネジメント株式会社

ピーシーエー・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号

加入協会 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会

『PCA南アフリカ債券ファンド(毎月決算型) 愛称:虹の国』 追加型投信/海外/債券

南アフリカを代表する資源「ダイヤモンド」。ダイヤモンドの本質的価値は、原石を磨き、ブリリアントカットと言われるような美しいカットをほどこすことで初めて生み出されます。

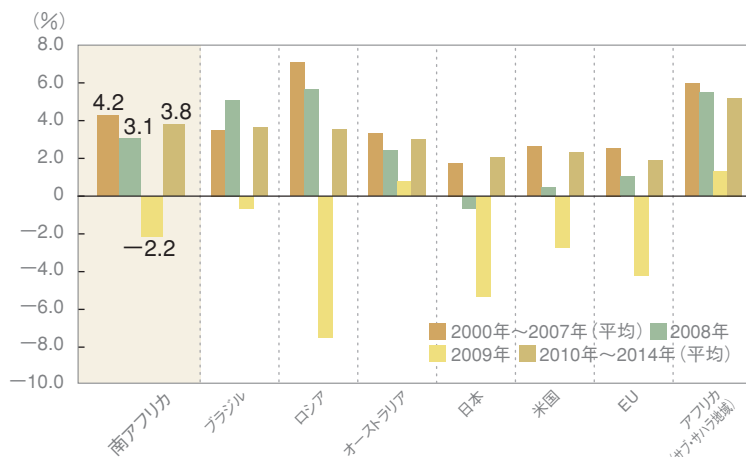
PCAアセットは南アフリカという原石を投資信託を通じて磨き上げるにより、その投資価値を皆様にご理解いただくことが出来ると信じております。

1 アフリカ最大の経済大国「南アフリカ」

- ・豊富な資源がアフリカへの注目を年々高めています。
- ・南アフリカの名目GDPの規模は2,774億米ドル(2009年予測値)と**アフリカ最大の経済大国**です。
- ・今後成長が期待されるアフリカ経済を**南アフリカがけん引**していくと期待されます。



実質GDP成長率の推移



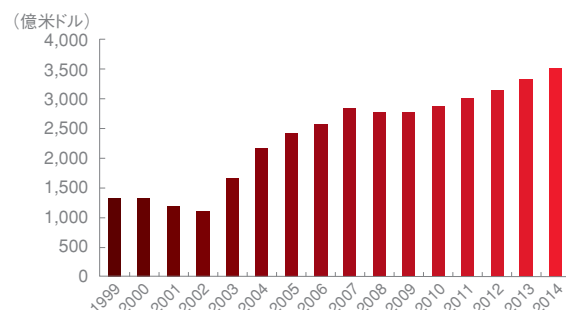
出所: IMF世界経済見通し(2009年10月) 2009年以降は予測値

アフリカ各国の名目GDP(上位5カ国)
(2009年: 予測値)

順位	国・地域名	2009年 (億米ドル)	伸び率 (対1999年)	アフリカ全体に 占めるシェア
1位	南アフリカ	2,774	2.1倍	23.4%
2位	ナイジェリア	1,654	4.6倍	14.0%
3位	アルジェリア	1,348	2.8倍	11.4%
4位	モロッコ	908	2.3倍	7.7%
5位	アンゴラ	697	11.3倍	5.9%
(ご参考)	アフリカ全体	11,849	2.7倍	—

出所: 国際連合

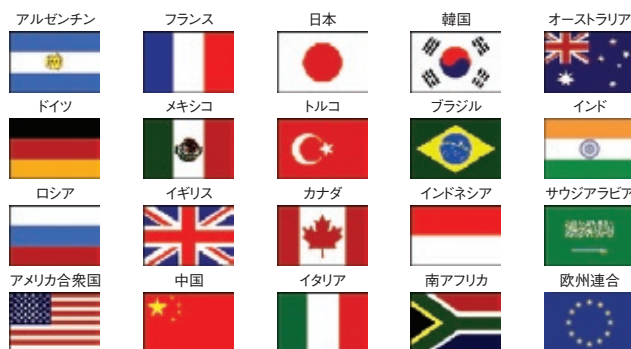
南アフリカの名目GDPの推移
(1999年～2014年) ※2009年以降は予測値



出所: IMF世界経済見通し(2009年10月)

2 アフリカ代表の「南アフリカ」

- ・世界経済の枠組みはG7からG20へ拡大しつつあります。
- ・南アフリカはG20において、アフリカから唯一の参加国。アフリカ代表として、**世界経済における存在感が高まっています。**



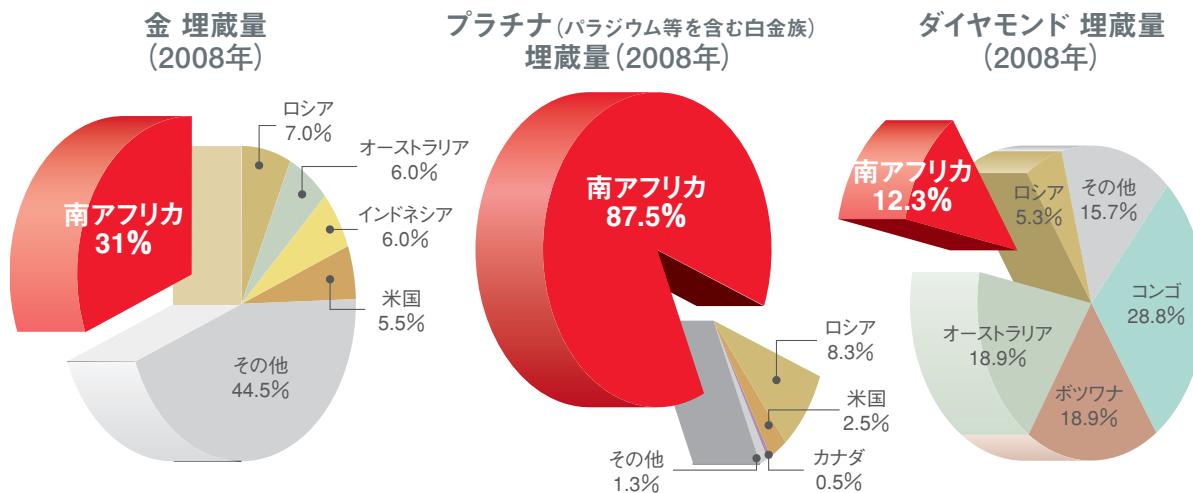
格付	国
AAA	米国、イギリス、ドイツ、オーストラリア カナダ、フランス
AA+	
AA	日本
AA-	サウジアラビア
A+	イタリア、中国、韓国、 南アフリカ
A	メキシコ
A-	
BBB+	ブラジル、ロシア
BBB	
BBB-	インド
BB+	インドネシア
BB	トルコ
BB-	
B+	
B	
B-	アルゼンチン
CCC以下	

出所: Bloomberg L.P.
格付はS&Pの自国通貨建長期格付を使用(2009年12月末現在)

当ファンドのリスクは7ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は8ページ「手数料等」の欄にてご確認いただけます。また、それぞれの詳細につきましては、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

3 資源大国「南アフリカ」

- ・南アフリカは金・プラチナ・ダイヤモンドなどの資源を豊富に保有しています。
- ・世界経済が成長する中で、資源需要は増大傾向にあります。



出所：USGS Mineral Commodity Summaries 2009

4 需要が急増するレアメタル

- ・レアメタルは「産業のビタミン」とも言われ、埋蔵量が少ないにもかかわらず需要が増大しており、世界的にその価値が高まっています。
- ・鉄鋼添加剤のほか、パソコンや携帯電話などのハイテク機器やハイブリッドカー、ソーラーパネルなどの環境関連機器には必要不可欠です。

	元素記号	埋蔵量/シェア	特徴
マンガン	Mn	40億トン (76.9%) (世界第1位)	電池として使用されているのが有名。また、機械的衝撃や摩擦に強いマンガン鋼には必須の成分。さらに、船舶のスクリューなどにも使用。
クロム	Cr	1.5億トン (40.1%) (世界第2位)	自動車や一部家電のメッキとして使用。また、ステンレス鋼の生産にも必須の金属。さらに、航空機のエンジンタービンなどに使用するスーパーアロイ (超合金) にも使用。
バナジウム	V	120億トン (31.6%) (世界第2位)	鉄鋼添加剤として主に使用され、工具や自動車のエンジンバルブ等にも使用。また、ゴルフクラブ等で使用されるチタン合金にも使用。さらに、航空機のエンジンタービンなどに使用するスーパーアロイ (超合金) にも使用。

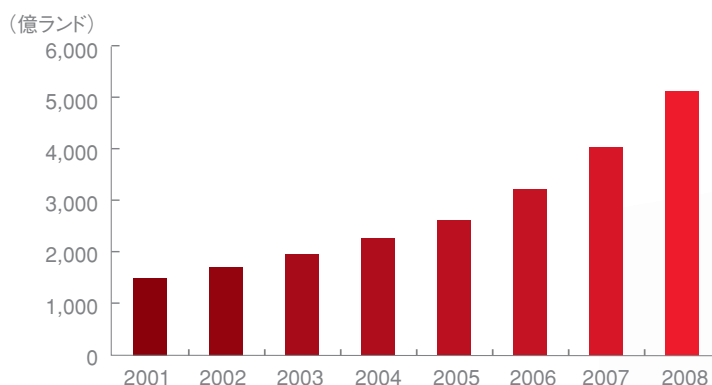
出所：USGS Mineral Commodity Summaries 2009

5 拡大するインフラ投資

- ・南アフリカのインフラ投資は年々拡大しており、2008年は5,137.5億ランド (約6兆4,000億円※) となっています。
(※1ランド=12.5円)

*総固定資本形成：住宅投資、設備投資、公共投資などの固定資本の追加分のことです。

総固定資本形成の推移 (2001年～2008年)



出所：南アフリカ準備銀行 Quarterly Bulletin December 2009

当ファンドのリスクは7ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は8ページ「手数料等」の欄にてご確認ください。また、それぞれの詳細につきましては、「投資信託説明書 (交付目論見書)」をご覧ください。

為替の推移

・世界的な景気後退の影響により南アフリカ・ランドは、2008年大きく下落したものの、2009年に入り回復基調にあります。

年間騰落率

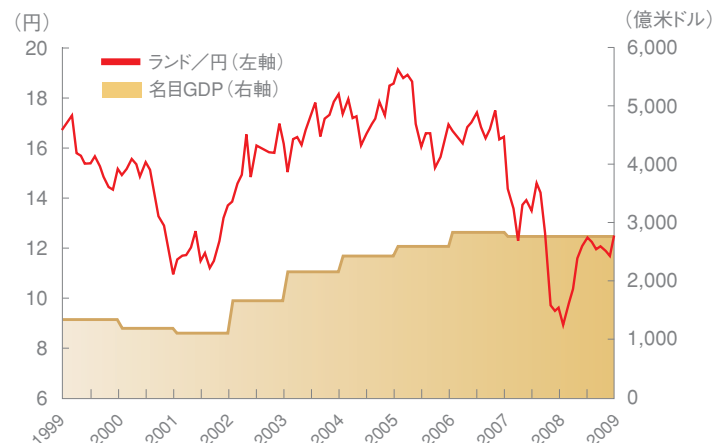
	ランド/円	米ドル/円
2006年	－8.7%	1.2%
2007年	－3.0%	－5.8%
2008年	－41.5%	－19.5%
2009年	29.8%	2.4%

＜経済と為替の関係＞

一般的に経済が強い国の通貨は海外からの投資資金の流入などにより上昇する傾向があります。

南アフリカも資源需要や消費の拡大などを背景にさらなる経済成長が見込まれ、今後通貨の上昇が期待されます。

ランド/円の推移 (1999年12月末～2009年12月末)



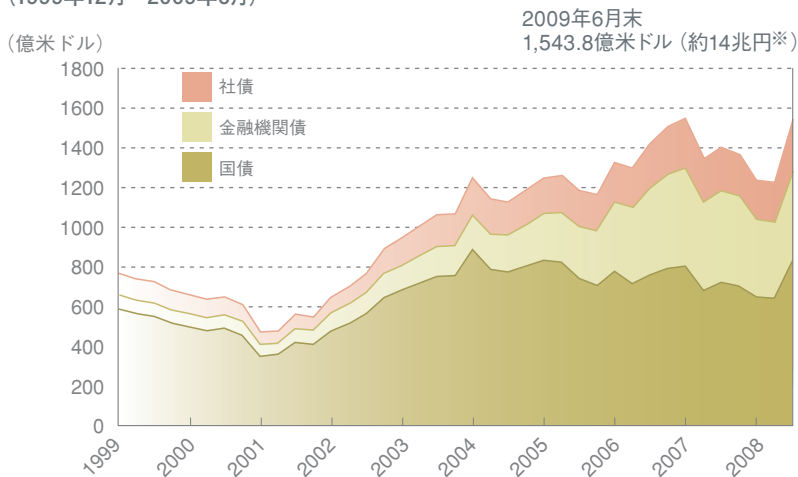
出所：Bloomberg L.P.、IMF世界経済見通し（2009年10月）

南アフリカの債券市場

・南アフリカの債券市場は拡大しており、また国債利回りは、先進国と比べ相対的に高く、魅力的な利回りを提供しています。



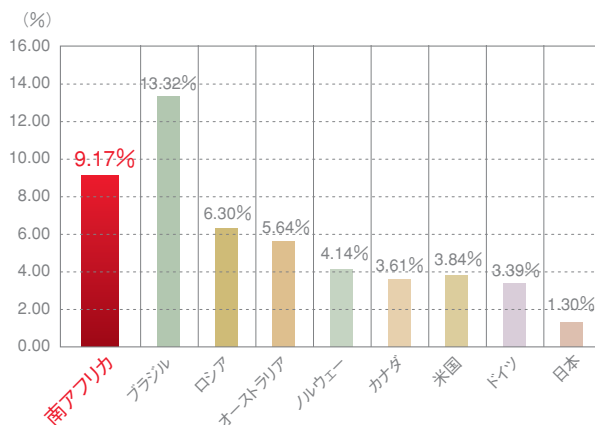
南アフリカの債券発行残高の推移 (1999年12月～2009年6月)



2009年6月末
1,543.8億米ドル（約14兆円※）

出所：BIS Quarterly Review: 'December 2009'
※1米ドル90円で換算

各国の国債利回り比較 (2009年12月末)



出所：Bloomberg L.P.

(注) 各国の10年国債利回り。ただし、ブラジルは7年国債利回り、ロシアは9年国債利回り。

南アフリカの政策金利と格付の推移 (1999年12月～2009年12月)



出所：Bloomberg L.P.

(注) 政策金利はRepo Average Rate。

格付は、S & Pの自国通貨建て長期債格付を使用

当ファンドのリスクは7ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は8ページ「手数料等」の欄にてご確認いただけます。また、それぞれの詳細につきましては、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

PCAアセットとは

- ◆ PCAアセットは世界26の国や地域に展開する英国ブルーデンシャル社を核とする、1848年創立の世界有数の金融サービスグループの日本における資産運用会社です。
- ◆ 当グループは1993年に南アフリカ・ケープタウンに資産運用会社を設立し、現在ヨハネスブルグ、ナミビアにも展開しています。2009年6月末現在、運用資産残高は、約120億米ドルとなっております。当グループはグローバルに展開する企業の中でも南アフリカに拠点をもつ、数少ない金融グループです。

※ピーシーイー・アセット・マネジメント株式会社は、英国で設立されたブルーデンシャル社（以下「親会社」といいます。）の間接子会社です。親会社およびその関連会社は、世界有数の金融サービスグループとして、世界各国で保険やその他の金融サービス事業を展開しています。160年以上の歴史を持ち、2009年6月30日現在その運用資産は2,450億ポンド（約39兆円、1ポンド＝159.51円）にのぼります。親会社およびピーシーイー・アセット・マネジメント株式会社は、主に米国で事業を展開しているブルーデンシャルファイナンシャル社とはなんら関係がありません。

南アフリカについて

国名：南アフリカ共和国

人口：4,807万人（2005年）

首都：プレトリア

面積：122万km²（日本の約3.2倍）

言語：英語、アフリカーンス語を含む11言語が公用語

宗教：キリスト教（人口の約80%）、ヒンズー教、イスラム教

通貨：ランド（1ランド＝12.49円）（2009年12月末）

元首：ジェイコブ・ズマ大統領

政治体制：共和制

主要産業：（農業）畜業、とうもろこし、柑橘類など
（鉱業）金、ダイヤモンド、プラチナ、ウランなど
（工業）食品、製鉄、化学、など

貿易総額：（輸出：2008年）803億米ドル

（輸入：2008年）881億米ドル

日本への輸出：（2008年）80.46億米ドル

対日輸出品目：プラチナ、パラジウム、合金鉄、石炭、鉄鋼、
金（非貨幣用）、木材チップ

日本からの輸入（2008年）49.15億米ドル

対日輸入品目：輸送機械（自動車および部品）

外貨準備高：324.8億米ドル

出所：外務省、国際連合、IMF世界経済見通し（2009年10月）、
Bloomberg L.P.

なぜ、南アフリカが「虹の国」？

南アフリカには現在、様々な民族が暮らしています。この多様性とその融合を虹に例え、“Rainbow Nation”（虹の国、七色の国民）と呼ばれています。



南アフリカの歴史

1652年：オランダ東インド会社、ケープ植民地設立

1910年：「南アフリカ連邦」独立

1961年：英連邦から脱退し共和制移行
（「南アフリカ共和国」成立）

1991年：アパルトヘイト関連法の廃止

1994年：初の全人種参加型の総選挙を実施、
マンデラ政権成立

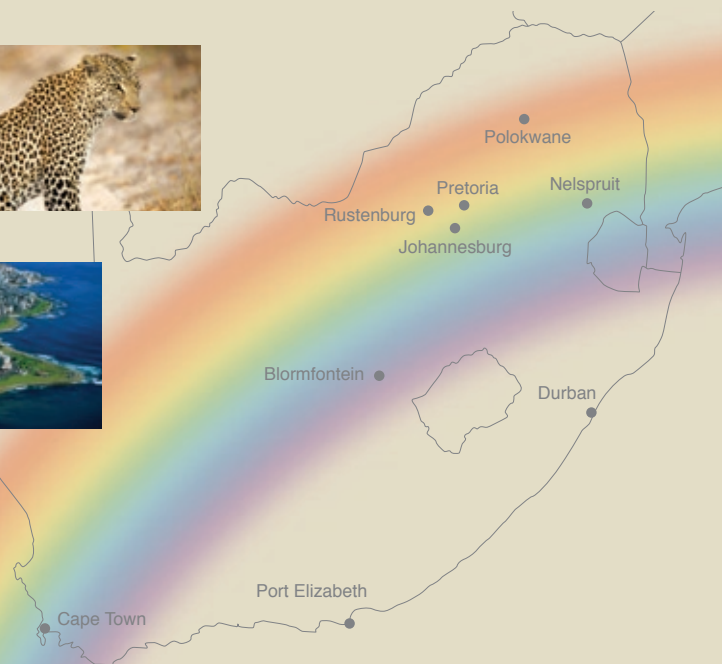
1995年：ラグビーW杯開催、南アフリカ初優勝

1997年：新憲法発効

2009年：ズマ大統領就任

2010年：アフリカ大陸初のサッカーW杯開催

出所：外務省のデータを基に弊社作成



当ファンドのリスクは7ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は8ページ「手数料等」の欄にてご確認いただけます。また、それぞれの詳細につきましては、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

PCA南アフリカ債券ファンド (毎月決算型) 愛称:虹の国 の特徴

- 南アフリカ・ランド建て債券を実質的な主要投資対象とします。
PCA南アフリカ債券マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として南アフリカ共和国の政府、政府機関および企業等または国際機関の発行する南アフリカ・ランド建て債券へ投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
実質的に組入れた外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。そのため、為替相場の変動の影響を受けることになります。
- 当社グループのネットワークを最大限活用します。
マザーファンドの運用は、当社グループの南アフリカ共和国の運用会社が行います。
- 毎月20日 (休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、以下の方針に基づいて分配を行います。
原則として、毎決算時に、主に利子・配当等収益から安定的に分配を行うことを目指します。ただし、委託会社の判断で収益分配を行わないことがあります。
- 「ファミリーファンド方式」により運用を行います。
「ファミリーファンド方式」とは、投資家はその資金をベビーファンド (PCA南アフリカ債券ファンド (毎月決算型)) に投資し、ベビーファンドはその資金をマザーファンド (PCA南アフリカ債券マザーファンド) に投資して、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、ピーシーイー・アセット・マネジメント株式会社が、当ファンドの参考となる情報の提供およびその内容やリスク等を説明するために作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成しておりますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当ファンドは、主として南アフリカ共和国の債券を実質的な投資対象とします。当ファンドの基準価額は、実質的に組入れた有価証券の値動きのほか、有価証券の発行者の経営・財務状況の変化および格付けの変更等の外部評価の変化、為替相場の変動等による影響を受けることから、投資元本を下回ることがあります。

投資信託のお申込みに際してご留意いただきたい事項

- 投資信託は、預金および保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護および補償の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う場合、投資者保護基金の補償対象ではありません。
- 過去の実績は、将来の運用成果を約束するものではありません。
- 投資信託は、株式、公社債等の値動きのある有価証券 (外貨建資産には為替変動リスクもあります。) に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、ご購入時の価額を下回ることもあり、元金が保証されているものではありません。これらに伴うリスクおよび運用の結果生じる損益は、すべて投資家の皆様の負担となります。
- ご購入の際は、あらかじめ投資信託説明書 (交付目論見書)、契約締結前交付書面等 (目論見書補完書面を含む) の内容を必ずご確認のうえ、投資のご判断はご自身でなさいますようお願いいたします。

当ファンドのリスクは7ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は8ページ「手数料等」の欄にてご確認ください。また、それぞれの詳細につきましては、「投資信託説明書 (交付目論見書)」をご覧ください。

当ファンドのリスクについて

当ファンドは、債券等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、当ファンドは元金が保証されているものではありません。また、信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドが有する主なリスクは以下の通りです。

1. 為替変動リスク



為替相場は、投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制等の要因により変動します。当ファンドは、実質的に組入れた外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場が円高方向に変動した場合には、基準価額の下落要因となります。

2. 金利変動リスク



一般に、金利が上昇した場合には、債券の価格は下落します。当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて主として債券に投資しますので、金利が上昇した場合は、基準価額の下落要因となります。

3. 信用リスク



有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、当該有価証券等の価格が大きく下落（価格がゼロになることもあります。）することがあります。当ファンドが実質的に組入れた有価証券等にこうした事態が起こった場合は、基準価額の下落要因となります。

4. カントリーリスク



一般に、エマージング・カントリーへの投資は先進主要国の市場と比較して、市場規模が小さく流動性の低い市場も含まれるため、債券の値動きが大きくなる傾向があります。また、先進主要国の経済と比較して当該国・地域の経済は脆弱である可能性があるため、インフレ、国際収支、政治・社会不安の悪化等が債券市場や為替市場に及ぼす影響は先進国以上に大きいものになることが予想されます。当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて主として南アフリカ共和国の債券に投資を行います。そのため、当該国・地域の政治、経済および社会情勢等の変化ならびに法制度等の変更により市場が混乱した場合、または取引に対して新たな規制が設けられた際には、基準価額の下落要因となる可能性があります。

5. 流動性リスク



組入れた有価証券等の市場規模が小さく取引量が少ない場合、または市場が急変した場合、当該有価証券等を売買する際に、希望する時期や価格で売買できない場合があり、不利益を被るリスクがあります。当ファンドの一部解約金の支払資金手当てのために、実質的に組入れた有価証券等を売却する場合には、市況動向や流動性等の状況によっては基準価額の下落要因となる可能性があります。

6. ファミリーファンド方式による運用に関するリスク



当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。マザーファンドは、複数のベビーファンドの資金を運用する場合があるため、他のベビーファンドからのマザーファンドへの資金流入の動向が、基準価額の変動要因となることがあります。

PCA South Africa Bond Fund

お申込メモ 当ファンドの詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

商品分類	追加型投信／海外／債券
主な投資対象	PCA南アフリカ債券マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として南アフリカ共和国の政府、政府機関および企業等または国際機関の発行する南アフリカ・ランド建て債券へ投資を行います。
為替ヘッジ	原則として、為替ヘッジは行いません。
お申込みの受付	原則として毎営業日に受付けます。ただし、南アフリカ共和国における金融商品取引所の休場日または銀行休業日を除きます。
お申込単位	販売会社がそれぞれ別に定める単位とします。
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額(当初申込期間：1口当たり1円)とします。
当初申込期間	2010年3月8日から2010年3月29日まで
継続申込期間	2010年3月30日以降
信託設定日	2010年3月30日
信託期間	原則として無期限です。
繰上償還	信託財産の純資産総額が30億円を下回ることとなった場合、信託終了前に信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、委託会社の判断により繰上償還を行う場合があります。
途中換金	原則として毎営業日に受付けます。ただし、南アフリカ共和国における金融商品取引所の休場日または銀行休業日を除きます。
換金価額	換金の受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保金を差引いた価額とします。換金代金は、換金の受付日から起算して原則として6営業日目からお支払いします。
決算日	原則として、毎月20日(休業日の場合は翌営業日)とします。なお、第1期決算日は2010年5月20日とします。
収益分配	原則として毎決算時に、主に利子・配当等収益から安定的に分配を行うことを目指します。ただし、委託会社の判断で収益分配を行わないことがあります。
課税関係	当ファンドは、課税上は株式投資信託として取扱われます。

手数料等

申込時に直接ご負担いただく費用

お申込み手数料	3.675% (税抜3.5%) を上限として販売会社がそれぞれ別に定める率を、お申込受付日の翌営業日の基準価額(当初申込期間中は1口当たり1円) に乗じて得た額とします。
---------	---

換金時に直接ご負担いただく費用

●信託財産留保金	換金の受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額とします。
----------	-------------------------------------

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

●信託報酬	純資産総額に対して年率1.6695% (税抜1.59%) を乗じて得た額とします。
●その他の費用	監査費用等の諸費用(純資産総額に対して上限年率0.10%) を含む「その他の費用」は運用状況等により変動するものであり、料率、上限額等を表示することができません。詳細につきましては投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。

※手数料等の合計額もしくはその上限額またはこれらの計算方法の概要は、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社およびファンドの関係法人

委託会社およびその他の関係法人の概要は以下の通りです。

委託会社	ピーシーイー・アセット・マネジメント株式会社 当ファンドの委託会社として信託財産の運用業務等を行います。
受託会社	住友信託銀行株式会社(再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社) 当ファンドの受託会社として信託財産の保管・管理等を行います。
販売会社	販売会社に関しては、次の照会先までお問合わせください。 ピーシーイー・アセット・マネジメント株式会社 TEL.03-5224-3400 (受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで) ホームページアドレス http://www.pcaasset.co.jp/ 当ファンドの受益権の募集の取扱いおよび販売、換金に関する事務、収益分配金・換金代金・償還金の支払いに関する事務等を行います。
投資顧問会社	当社グループ南アフリカ運用会社 (PPMSA) 委託会社より、マザーファンドの運用の指図に関する権限の一部につき委託を受けて投資判断・発注等を行います。